

# 配送拠点担う新工場が稼働

ポラス ポラテック プレカット工場 次のステップへ

木材プレカット分野において日本一の生産量を誇るポラスグループのポラテックが生産工場において次のステップに踏み出した。

流拠点としての役割を担っている。

「名古屋工場」は、もちろんプレカット工場として羽柄材加工機と、ロボットを組み合わせた合板加工機を設置しているが、「名古屋工場」の特

5月21日から稼働した新工場「名古屋工場」で展開しているもので、物

微は、トラックによる配送効率の良い、消費地に近い臨海部立地となっており、物流拠点としての役割を持たせている。

ポラテックの北大路康信専務取締役は名古屋工場見学会の席で、物流拠点の役割を果たすプレカ

ット工場の必要性について次のように語った。

「全国5工場で生産しているが、用地の価格が安いということで港より遠くで設置している。トラックが2回転、3回転することは難しくなる。いままでは生産第一に考

えて稼働させており、配送は後回しにしていたが、今後はトラックの運転手不足などの要因も加わり、回転はますます悪くなる」という。

こうした状況を解消するためには、配送拠点を兼ね備えた工場が必要となると指摘する。

ポラテックの「名古屋工場」以外の5工場は最低2万坪の土地で稼働している。5工場以外にもこうした大規模なプレカット工場の新設についても計画しているが、今後配送拠点を備えた工場について敷地4000〜5000坪程度の土地において、東京、横浜、大阪

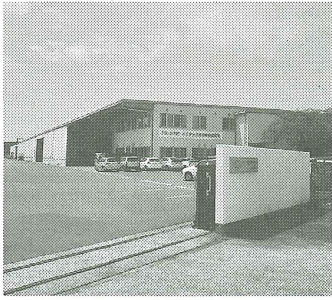
でも同様の拠点を作りたいとしている。

現在ポラテックは、名古屋工場のほか構造材加工を中心に行う大規模工場を茨城県、滋賀県、宮城県、静岡県、佐賀県の5拠点で稼働、構造材生産能力は月産合計17万6000坪（1棟34坪換算で約5200棟分）となっており、プレカット業界最大手である。

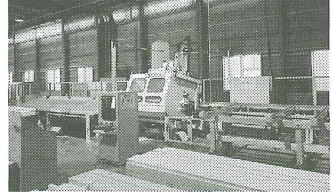
名古屋工場はポラテック西日本が所有している。ポラテック西日本としては、滋賀工場（構造材生産能力/月産3万3000坪）、佐賀工場（同生産能力/月産1万坪）と今回の名古屋工場の3工場体制となる。



「名古屋工場」について説明するポラテックの北大路康信専務取締役



(中)「名古屋工場」外観



(下) 羽柄材加工機

## 名古屋工場の概要

所在地 愛知県海部郡飛鳥村木場1丁目10

- 1、敷地面積 3384
- 2、5坪、工場延床面積 2086.2坪、月間生産能力 羽柄材 500坪、合板加工 300坪、社員数 10人
- (地元採用7人、配送工リア 愛知県、岐阜県、初期投資額 14億円。